

# 岐阜県における新広域道路交通計画 ～ICT 交通マネジメント計画～

## (1) 将来像（目指すべき姿）

新たな広域道路交通ビジョン（岐阜県版）より、岐阜県の広域道路交通に関する取組を通じて、平常時・災害時を問わず、滞りのない対流を形成するため、岐阜県の将来像を以下のように定めた。

＜岐阜県の将来像＞

1. 県内の各圏域や都市間など地域と地域をつなぎ、広大な県土の一体化を図り、観光交流ネットワークを形成することで、「地方創生」を実現する。
2. モノの定時性・速達性が確保された物流ネットワーク形成により、スーパーメガリージョン構想を後押しし、「物流首都」の一翼を担う。
3. 近隣の空港・港湾や高速鉄道駅といった人流の発生拠点をつなぎ、人流を活発にする基盤を形成し、「セントラルハブ」の一翼を担う。
4. 巨大災害時も有効に機能する道路ネットワークを形成し、「とまらない経済活動」に寄与する強靱な県土づくりの根幹を担う。
5. 次世代技術の導入による「高度モビリティ社会」を実現する。

## (2) 将来像実現に向けた取組

岐阜県の将来像の実現に向けて、現状の課題への対応や従来の需要追従型の視点にもとづく取組のみならず、都市・地域構造の変革を促すような需要誘導型の視点を踏まえて検討し、ICTや自動運転等の革新的な技術を積極的に活用した交通マネジメントの強化に関わる計画として「ICT 交通マネジメント計画」を策定する。

## (3) 岐阜県における ICT 交通マネジメント計画

岐阜県では、中山間地域における生活の移動や物流を確保するため、自動運転技術の実装に向けた実証実験を行っており、この取組を引き続き推進する。

Society5.0 の先行的な実践の場として、AI、IoT など革新的技術を活用し、都市や地域の機能や提供する交通サービスの高度化・効率化、各種の課題解決を図り、快適性や利便性を含めた都市や地域の新たな価値を創出するスマートシティ実現に向けた取組を推進するとともに、郊外の過疎地等における住民の生活利便性および来訪者の移動利便性の向上にむけた MaaS による多様な交通モードの乗り継ぎ検索や一括予約など、新たなモビリティサービスの社会実装の取組を促進する。

こうした ICT 交通マネジメント施策の強化に合わせて、公共交通事業者によるデータのオープン化を促進する。

また、AI,IoT などの革新的技術を活用した新たな道路施策や交通マネジメントを推進するための検討体制を強化する。

<ICT マネジメントの取組事例>

表 ICT 交通マネジメントの強化を図る取組

分類	取組内容
自動運転	・道の駅「明宝」を拠点とした自動運転サービスの展開（郡上市明宝）
スマートシティ等	・スマートシティぎふ（岐阜市）
MaaS 等新たなモビリティサービス	・高山市におけるビッグデータ等を活用した渋滞対策（高山市） ・各務原市における AI を活用したデマンド交通「チョイソコかかみがはら」事業（各務原市）
その他	公共交通オープンデータ化の取り組み （中津川市、岐阜市、恵那市、可児市、本巣市、海津市）

※ICT 交通マネジメントの強化を図る取組については、引き続き追加を検討するとともに、従前から各地で実施している ETC2.0 等を活用した渋滞対策、事故対策等も引き続き推進する。